

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 15 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県飯塚市芳雄町3-83

住 所

株式会社 麻生 飯塚病院

氏 名

院長 増本 陽秀

電話番号 0948-29-8016

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

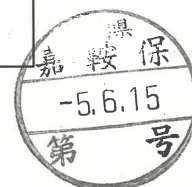
事業場の名称	株式会社 麻生 飯塚病院
事業場の所在地	福岡県飯塚市芳雄町3-83
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	P. 医療, 福祉
② 事業の規模	病院 1048床
③ 従業員数	2483人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 発生「標準廃棄フロー」 処理「特別管理産業廃棄物処理工程」

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙 「廃棄物管理規定」の通り



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管感染性廃棄物	
	排出量	474,08 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
(これまでに実施した取組) 別紙「環境方針」に則り廃棄物の適正管理と減量の推進を行う			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管感染性廃棄物	
	排出量	420 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
(今後実施する予定の取組) 別紙「環境方針」に則り廃棄物の適正管理と減量の推進を行う また、可能な限り容器の詰め方を工夫する			
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙「標準廃棄フロー」		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】			
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（令和 4 年度）実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管感染性廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管感染性廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 (4年度) 実績】		
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管感染性廃棄物		
	全処理委託量	474,058 t		t
	優良認定処理業者への処理委託量	60,070 t		t
	再生利用業者への処理委託量	0 t		t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	150,199.870		t
	特別管理産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
認定熱回収業者への処理委託量		t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>感染性廃棄物の中間処理業者選定においては、非焼却が可能な業者を優先し委託している。中間処理後の残物についても、可能な限り熱回収及び再資源化への取り組みを行っている。焼却が必要な廃棄物についても、熱回収が可能な業者を優先し委託している。</p> <p>グループ会社内での委託により、処理状況の現状把握等の情報共有も密に連携がとれている。</p>				
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	特管感染性廃棄物		
	全処理委託量	450 t		t
	優良認定処理業者への処理委託量	50 t		t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	130 t		t
	特別管理産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
再生利用業者への処理委託量		t	t	
認定熱回収業者への処理委託量		t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	
(今後実施する予定の取組)				